

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年11月27日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4070702289		
法人名	九州運輸建設株式会社		
事業所名	グループホーム ふくじゅそう		
所在地 (電話番号)	〒807-0801 福岡県北九州市八幡西区本城四丁目7-46 (電話)093-603-8770		
評価機関名	特定非営利活動法人 北九州シーダブル協会		
所在地	福岡県北九州市小倉北区真鶴二丁目5-27		
訪問調査日	平成21年11月24日	評価確定日	平成21年12月8日

## 【情報提供票より】(平成21年10月28日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成16年4月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤(専任13人 兼務2人) 非常勤0人 常勤換算9.1人	

### (2) 建物概要

建物形態	単独型	築5年
建物構造	木造一部鉄骨 造り	
	1階建ての	1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	水道光熱費11,000円
敷金	有(150,000円)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(252,000円)	有りの場合 償却の有無	有 期間 3年
食材料費	朝食	250 円	昼食 500 円
	夕食	600 円	おやつ 150 円
	または1日当たり 円		

### (4) 利用者の概要(平成21年10月28日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名
要介護1	7名	要介護2	4名		
要介護3	5名	要介護4	1名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 83.6歳	最低	69歳	最高	98歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	三菱化学病院 ・ 村井クリニック ・ 折尾病院 ・ 東筑病院 ・ 本庄外科医局
---------	---

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

奥洞海緑地帯の緑あふれる自然環境の一角に、瀟洒な佇まいのグループホーム「ふくじゅそう」がある。建物は左右対称の2ユニットで、広々とした吹き抜けから射し込む明りは、暖かで利用者の気持ちを穏やかにしている。職員一人ひとりが責任を持って全員で作成する介護計画は、モニタリングに家族満足度を取り入れ、思いやりの溢れた計画書で、職員が介護記録と看護記録を作り、きめ細かな健康管理が出来るように工夫している。2ヶ月毎に開催される運営推進会議を、地域交流の核と位置付け、双方向的な様々な取り組みを実践し、地域密着型介護事業の拠点として、着実に成果を上げてきている。また、利用者の身体機能の低下を防ぐ手段として、生活リハビリを通じて実践し、利用者が安心して、いつまでも「ふくじゅそう」で暮らせるよう、職員全員で取り組むことを目標に掲げ、日々努力している。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の改善点は「権利擁護に関する制度の理解と活用」「重度化や終末期に向けた方針の共有」の2件であったが、ホーム長、管理者、職員が一丸となって取り組んだ結果、改善が来ている。今回は非常災害時の非常食、飲料水、毛布などの備蓄が望まれる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員一人ひとりが分担して、自己評価を記入し、会議で話し合い、管理者が取りまとめ作成している。管理者、職員は評価の意義を理解し、評価結果表を回覧し、一人ひとりが目標を立て、介護サービスの質の向上を目指し、日々努力している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	会議は2ヶ月毎に開催し、家族、地域、行政、ホーム関係者が参加し、会議だけではなく、消防訓練や研修の場として、地域密着型の有意義な会議である。また、家族の参加が多く、家族同士の交流の場として活発な意見交換会が来ている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の来訪が多く、管理者、職員と親しく話す機会があり、利用者の心身の状況や、ホームでの行事や暮らしぶりを、スナップ写真等で報告し、家族からの悩みや要望を聴き、ホーム運営に反映している。また、モニタリングに家族の満足度を取り入れ、利用者や家族が安心して過ごせるような体制がある。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	利用者と職員は地域の行事(夏祭り、盆踊り、敬老会、文化祭)に積極的に参加し、ホーム行事(バーベキュー大会、草取り)には、たくさんの地域の方が参加して、活発な交流の輪が来ている。また、地域の4自治区と連携し、行事に参加するだけでなく、出演したり、模擬店を出店したりして、地域密着型グループホームとして、地域との信頼関係も深い「ふくじゅそう」である。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>1. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者が心豊かに安心して暮らせるよう、人生観や生活習慣を尊重し、家族や地域と連携を深め、自立支援のために、利用者一人ひとりの残存能力を十分に発揮しながら、自分らしく笑顔あふれる穏やかな日々が送れるよう支援することを目指して、ホーム独自の理念を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を玄関に掲示すると共に、毎朝申し送り時に全員で唱和し意識付けを図っている。また、ホーム内のみでなく、運営推進会議や行事時など機会をとらえ、外部にも理念や理念の実践に向けた取り組みを伝えている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	運動会、敬老会、文化祭など地域の行事に利用者、家族、職員皆で参加し、近隣の自治会との交流が積極的である。特に模擬店への出展、夏祭りの盆踊りへの参加は、利用者の生活に活気と潤いを与えている。また、地域の高齢者の相談に応じる取り組みや近隣住民との散歩時の挨拶など、日常的にふれあう機会も多い。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の課題は、「権利擁護に関する制度の理解と活用」「重度化や終末期に向けた方針の共有」の2件であるが、管理者、職員が全員で取り組んだ結果改善されている。自己評価票作成に関しては、全職員が分担して記入したものを、管理者がまとめている。全員で作成することで、日頃の取り組みの再確認と、気づきを促す結果に繋がっている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に一度、利用者、家族、町内会長、組長、地域包括支援センター職員をメンバーに開催している。取り組みを報告すると共に要望、意見を積極的に聴いている。家族の参加が多く、出された意見は運営に反映させている。運営推進会議を、避難訓練や草取り等を、バーベキュー会と組み合わせる開くなどの工夫で、近隣住民の参加もあり、地域の理解と支援を得る機会になっている。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営上の不明な点や、相談事があれば区の担当窓口に出向いてアドバイスを受けるなど、日頃から連携を密にし、サービスの向上を図っている。地域包括支援センターに、ホームの空き情報を伝えたり、助言、指導を求めたりと、積極的に交流をはかっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
7	10	権利擁護に関する制度の理解活用	権利擁護に関する資料を揃え、社内学習会を開催するなどの取り組みをしているが、前回の外部評価で個々にあった支援が実践できるよう課題としてあげられていた。評価結果を受け、外部研修への参加等、学ぶ機会を多くし、何時でも支援できるような体制を整えている。		
		管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している			
4. 理念を実践するための体制					
8	14	家族等への報告	二ヶ月に一度、行事時の写真や生活の様子、お知らせなど内容豊富なホーム便りを発行している。ホームの行事の際には家族も多数参加し、情報交換をしている。家族の来訪時には、時には食事を共にしながらリラックスした雰囲気の中で生活の様子を伝えることもある。		
		事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている			
9	15	運営に関する家族等意見の反映	運営推進会議や面会時、行事への参加時など様々な場面で得た家族の意見は必ず会議でとり上げサービスに繋げている。介護計画見直し時には、利用者と家族の満足度と意見欄を設けたモニタリングシートを用い、利用者や家族の意見が反映された計画を作成している。意見箱の設置やホーム以外の相談苦情窓口の紹介などの支援もしている。		
		家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている			
10	18	職員の異動等による影響への配慮	職員の異動の場合は、利用者事前に伝えたり、馴染みの関係が築かれている職員による担当制をとる等、ダメージを防ぐ取り組みをしている。職員の異動は、利用者のみならず家族にとっても不安を与える要素になるので、家族にも情報提供出来るようにすることを考えている。		
		運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている			
11	19	人権の尊重	職員の採用にあたっては、性別や年齢などの制限は設けていない。産休や育児休暇の制度もあり、65歳以降も夜勤が免除され、働けるなど、経験や力が活かせるような配慮がされている。職員の休憩時間、休憩室も確保されている。		
		法人代表者及び管理者は職員は職員の募集採用にあたっては性別や年齢などを理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きと勤務し社会参加や自己実現の権利が十分に保障されるよう配慮している			
12	20	人権教育・啓発活動	基本方針のトップに「尊重の心を持って」をあげ、利用者の心の声を代弁した「10のお願い」を人目につきやすい所に掲示し、声かけによる拘束をしていないか常に振り返りし、利用者との会話は敬語を原則とする等、人権を尊重した取り組みをしている。		
		法人代表及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員などに対する人権教育、啓発活動にとりくんでいる			
5. 人材の育成と支援					
13	21	職員を育てる取り組み	研修参加のために勤務のローテーションを工夫するなど、外部の研修にも積極的に参加している。参加者は伝達研修をし、知識の共有をはかっている。個人面談、親睦会、食事会など意見交換や気軽に相談できる場を設け、出された意見は運営者にも伝えるなどの取り組みをしている。資格取得のための支援で、働きながら新たな資格を取得した職員も多い。		
		運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている			

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
14	22	同業者との交流を通じた向上	グループホーム協議会に加入し、研修や意見交換会や相互訪問など職員が交代で参加し、サービスの質の向上につなげている。		
		運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている			
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	馴染みながらのサービス利用	今までの生活様式、一日の時間の過ごし方など出来る限り継続できるよう、契約までに自宅を訪問し、本人、家族とも面談し、入居に至るようにしている。入居後は家族や必要に応じて居宅介護のケアマネージャーとも連絡をとり、ホームの生活に馴染めるよう支援している。家族の面会が多いこと、ホームの行事に家族の参加が多いこと等、家族の協力も大きな力になっている。		
		本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は利用者のペースや自主性を尊重しながら、共有の時間を持つように努めている。利用者が自然体で職員と会話をしながら、食事の準備、後片付けをしている光景から、お互いの信頼関係が伺える。		
		職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている			
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
17	35	思いや意向の把握	利用者と共に共有の時間を多く持ち、言葉や表情や行動から意向を汲み取るように努めている。困難な場合でも入浴時や散歩時などリラックスした対一の場面を利用して、働きかけるなどの取り組みをしている。物事を決めるときは利用者の自己決定を優先している。		
		一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している			
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	チームでつくる利用者本位の介護計画	職員は日頃の利用者との関わりの中で、気づいたことをケアノートに書きとめ、話し合い、計画に反映させている。ケアマネージャーを中心に全員が担当し、計画作成に参加している。利用者の会話、行動、家族からの意見なども大切に、利用者主体の計画になるよう努めている。		
		本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している			
19	39	現状に即した介護計画の見直し	利用者、家族の満足度と意見欄を設けたモニタリングシートを用い、定期的に家族も参加して計画の見直しをしている。状態の変化が見られたときには、関係者と話し合いその都度現状に即した計画を立案している。		
		介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している			

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
20	41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	隣接するデイサービスセンターとの催し物への参加。二ヶ月に一回の訪問理・美容、かかりつけ医への受診支援、看護師の常勤による健康管理と看護記録の充実、介護計画見直し時の利用者、家族の満足度評価など、利用者や家族の状況や意向に対応出来るような支援をきめ細かくしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
21	45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族の意向を尊重しかかりつけ医への支援をしている。ホームの常勤の看護師は隣接するデイサービスセンターの看護師や協力医療機関の看護師とも日頃から連絡を取り、受診の時期を逸することなく対応できるよう支援している。		
22	49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向けた対応について、重要事項説明書に明記し、看取りの指針と共に説明し、利用者や家族の同意を得ている。利用者の状態の変化時はその都度再確認し、ホームの力量や体制から対応できる範囲を明確にし、方針を共有するようにしている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	52	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は、さりげない声かけや対応に配慮し、利用者の誇りやプライバシーを損ねないよう支援している。居室はトイレや洗面台が設けられ、羞恥心への配慮も細かくなされている。ホーム便りは配布先を家族に限定する等、個人情報の取り扱いにも細心の注意を払っている。		
24	54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日のスケジュールはあるが、利用者の状況や意向に応じ柔軟に対応している。レクリエーションへの参加も個々の希望を優先し、自由に行っている。鉄や針の利用も自由であるが、安全の確保はさりげなくしている。買い物も利用者の希望に沿って支払いできるようにしている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理師の資格も持つ職員が、利用者の希望も考慮しながらメニューを考えている。和やかな雰囲気職員も一緒に食卓を囲んでいる。誕生日には希望のメニューやケーキを作りお祝いしている。時には家族や地域の方も一緒に中庭でバーベキューをする等、食事が楽しいものとなるような取り組みをしている。		
26	59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望を優先し、午前・午後と分けて入浴の支援をしている。広々とした浴室の全周に手すりを取り付けるなど安全に快適に入浴が楽しめるように工夫されている。浴室入り口には暖簾をかけるなど雰囲気作りにも配慮している。現在、入浴を拒否している利用者はいない。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者が自主的に食事の準備や後片付け、洗濯物たたみなど職員と一緒にしている。行事やボランティアによる踊りなどの催し時には家族の参加も多く、利用者、家族、職員が一緒になって楽しむように支援している。日曜日は飲酒の日とし、量を決めて認めたり、入浴後はビールを楽しむ利用者もいるなど、嗜好の制限も緩やかである。		
28	63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	芝生が敷き詰められた中庭や、玄関先など自由に戸外に出られる環境にある。ドライブ時には、手作りの弁当を持参し食事を楽しみながら、気分転換や季節を肌で感じることが出来るように支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関、居室共に鍵をかけていない。本人及び家族が望まれた時のみ外から開けられるよう工夫し鍵をかけている。隣接する同一会社のデイサービスセンターや周囲の関連施設と協力関係を築き、連絡網を作成し、利用者の自由な生活を制限することなく安全が確保できるようにきめ細かい取り組みをしている。		
30	73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に二回、夜間を想定した避難訓練を実施している。運営推進会議時に実施するなど取り組みを工夫することで、近隣住民や家族の参加も多く充実した訓練になっている。毎日の業務の引継ぎ時には避難確認を唱和し、指さし確認し意識づけをしている。		非常災害時に備え、利用者が容易に摂取できる非常食や飲料水、毛布などの備蓄の検討が望まれる。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の量や形状は、利用者の年齢、体格など個々の状況を考慮し支援している。主食以外に、おやつや飲み物も利用者の好みを考慮し、必要量が摂れる様に細かい配慮をしている。食事摂取量、水分摂取量は医師の指示などに応じて記録している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間、食堂の天井は吹き抜けて、明るく広々とした空間になっている。全面ガラス張りの掃きだし窓の外には広いテラスが設けられ戸外で食事を楽しむことも出来る。玄関先やテラスには利用者が思い思いの時間を過ごせるようベンチが置かれている。壁には利用者の作品や楽しそうな写真が飾られ、上手に生活感、季節感がとり入れられている。		
33	85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各室にトイレ、洗面台、電動ベッド、ナースコール、足元照明、冷暖房が完備され、快適と安全面と羞恥心への配慮された造りになっている。使い慣れた家具や好みの置物が置かれた居室は明るく、居心地よく過ごせる工夫がされている。		